

# 「バセドウ病の治療経過予測因子」に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2023年10月24日～2028年12月31日

## 〔研究課題〕

バセドウ病の治療経過予測因子の検討

## 〔研究目的〕

バセドウ病は、自己免疫異常により甲状腺の腫れと甲状腺機能亢進症が引き起こされる疾患です。薬物療法などが行われますが、様々な要因(病態、病勢、選択した薬剤の副次的効果の有無、ストレス・喫煙・併用薬といった環境要因等)によって経過が変わってくると考えられています。そこで、バセドウ病の治療経過を予測できる因子を調べ、治療方法を改良し一般化できないか、検討することとしました。

## 〔研究意義〕

本研究により、バセドウ病治療の経過に影響する因子が明らかとなれば、その点にも配慮した治療法を行うことで、バセドウ病の患者様・皆様へのより良い治療に結びつけることができると考えています。

## 〔対象・研究方法〕

2014年4月1日から2024年8月31日までの間に、帝京大学医学部附属病院内科に外来受診ないしは入院したバセドウ病の患者様を対象に、カルテから年齢、性別、身長、体重、処方内容、理学的所見(甲状腺のサイズなど)、生活歴(喫煙など)、家族歴、一般検査所見、甲状腺機能やその関連の検査所見、甲状腺の超音波や核医学の検査所見、併存疾患などを調査し、バセドウ病の治療経過(抗甲状腺薬の種類や投与量の推移、寛解の有無など)との関連を調べます。

## 〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院内科 外来・病棟

## 〔個人情報の取り扱い〕

研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせて頂くことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報は全て削除し、プライバシーは守られます。研究終了後に電子化したデータセット等を倫理委員会に提出し、帝京大学臨床研究センター(TARC)で10年間保管後廃棄します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 盛田 幸司 職名 病院教授

所属：帝京大学医学部内科学講座

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211 (代表)